

ベンツ兄弟船

第4回

でレース参戦!!

190E 2.3-16で目指すはセパン24時間!?

不惑の年からのプロレーサー育成講座

文・取材●Office WH
撮影●Office WH、村上 豊
取材協力●スピードジャパン tel:03-3555-8865
<http://www.speedjapan.co.jp>
エスベランサ tel:048-478-6485
G-SONIC <http://www.g-sonic.jp/>
S-FACTORY tel:03-5636-5122



今月の作業はS-FACTORYで!

今回の作業はスピードジャパンの提携工場のひとつS-FACTORY(東京都江戸川区篠崎町7-11-5)で行った。ここS-FACTORYはベンツを中心としたスペシャルショップ。元ディーラーの経験豊富なメカニックが対応してくれる。バーソの持ち込みもOK。完全予約制なので、ここでメンテをお願いしたい時にはtel:03-5636-5122まで電話してから。



ブレーキ強化!

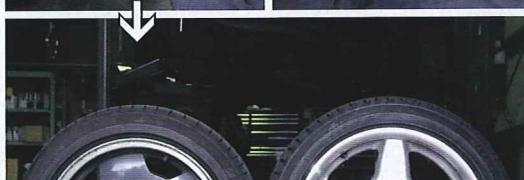
6月の本庄サーキットでレースデビューすることが決定している190E。アイが成功し、次なる課題は足回り。さすがにノーマルのブレーキだとブレーキするため、アドバイザーのスピードジャパン小澤に相談。するとスピードジャパン小澤、何ども簡単に「試しにローターとキャリパーをセットで送りますから、それ付けてみて下さい」と言う。一体どんなブレーキなんだろう?

今回の作業はスピードジャパンの提携工場であるSファクトリー。ベンツに強いスペシャルショップだ。さつそく取付開始。梱包をほどくと出てきた出てきた。うーむ、かなり大径のローターですね。フロントのキャリパーはブレンボの4ポッド。リアはATEだ。聞くとR129(先代ベンツSLクラス)ファイナルのモノ。フロントのキャリパーはブレンボの4ポッド。ノーマルに付いているローターと比べると、その大きな違いが一目瞭然。この大径ローターを収めるために16インチだったホイールは17インチのモノへと変更。しかしそれだけだとまだ装着は不可能。バックブレートにローターが干渉してしまうため、ロアームのブッシュ部分をグラインダーで削っていく。ローターとバックブレードのクリアランスはご覧の通り。でもこれで無事に装着できました。ちなみにパッドはコチラ(パッケージ参照)を使用しています。



フロントのローター&キャリパー装着

アドバイザーであるスピードジャパン小澤が用意してくれたブレーキのセットは、R129(先代ベンツSLクラス)ファイナルのモノ。フロントのキャリパーはブレンボの4ポッド。ノーマルに付いているローターと比べると、その大きな違いが一目瞭然。この大径ローターを収めるために16インチだったホイールは17インチのモノへと変更。しかしそれだけだとまだ装着は不可能。バックブレードにローターが干渉してしまうため、ロアームのブッシュ部分をグラインダーで削っていく。ローターとバックブレードのクリアランスはご覧の通り。でもこれで無事に装着できました。ちなみにパッドはコチラ(パッケージ参照)を使用しています。



今までのホイール

17インチへとアップ

れた。さすがにベンツのことならお任せのスーパーバイザーである。

ここまで来たら後は簡単。今まで付いていたローター＆キャリパーを外し、新しいR129用の大径ローターとキャリパーを装着しブレーキラインも新しくすれば完了。なんだかあっけないなあ。とか思っていたのも束の間。ローターが大きすぎて裏側にあるバックプレートに当たりうまく装着できないではないか！このバックプレート、ローターに走行風を当てる冷やす役割をしているらしい。多少削ったり叩いたり切つたりしても問題なからう、といふことでグラインダーの登場。

ギャギヤギヤギヤギヤー！ ビィビィビィビィーン！ とグラインダーと一緒にバックプレートの火花散る戦い。フロントはロアアームのブッシュ部分が当たるところだけ削ってなんとか吸

まれた。まつたが、リアは上側を月形に切り取つて何とかローターを収めた。やれやれ、これでひと安心。残すはライトの光量がイマイチ不安なヘッドライトのモディファイ。スピードジャパン・オリジナルのHIDコンバージョンキット詳細はスピードジャパンのHPを参照を装着し終了。

「どうもお疲れさまでした」

車体を持ち上げていたりフットを降ろして完全終了！のはずが、やっぱりダメだったのね。誰もが不安に思つていた不具合が現実に…。

大径のローターを組み込むためにホイールサイズも17インチとなつた。当然タイヤもそれに合わせて大きくなり、ホイールとセットになったタイヤのサイズは225/45R17。車体を地面に降ろし前後にクルマを移動させステアリングを切ると…!! フロントフェン

ダー後ろ側にタイヤが接触。これじゃあ走れない。みんなが恐れていた事態が発生。さて、どーしたものか。

「タイヤ買つてしましよう」

さすが決断の早い不惑の年メンバー。近くのタイヤ屋さんでダンロップ・ルマンを4本購入。サイズはひと回り小型化する205/40R17。これならフエンダーに干渉することはないはず。装着し地面に降ろし前後に移動させ慣らす。うんうん、全然大丈夫。これなら問題なし。こうして無事R129用ローター＆キャリパーが装着された。

次は今回の作業で不具合が発見され

た足回りのパーツを交換していく作業を予定している。と、その前に、今月号の特集にちょっとお邪魔させてもら

い、サーキットでシェイクダウンつて

のもいいかも。特集と合わせてお楽しみ下さい。

225/45R17サイズのタイヤ

205/40R17サイズのタイヤ

思わぬ落とし穴！ ステアリングが切れない!!

そんなに驚くことではない。だって最初から何となく分かっていたこと。でも実際に全ての作業が終わって、祈るような気持ちで車体をリフトから降ろしてガッカリ。案の定フロントフェンダー後ろ側にタイヤが干渉してしまい走ることができない。225/45R17のタイヤサイズだと大きいのだ。ガッカリしたけど立ち直りは早い。すぐさま近所のタイヤ屋さんでひと回り小型のタイヤ、ダンロップのルマンLM703を購入。サイズは205/40R17。これなら車体に干渉することもない。やれやれ。ちなみにこのタイヤ、ダンロップだけの特殊吸音スponジの採用で、音を吸い取ってくれるデジタル。ほんとに静かなんだろうか、ちょっと楽しみ。

ヘッドライトを明るくしましよう

ついでと言つては何ですが、あまりに暗かったヘッドライトをスピードジャパン・オリジナルのHIDコンバージョンキットに変更。ピックリするくらいの明るさ。これで夜道も怖くない。このHIDコンバージョンキット、かなりの格安にて提供されます。気になる人はスピードジャパンのHPを見て下さい。



リアのローター＆キャリパー装着

フロント同様にリアもR129のファイナルモデル用を流用。と簡単に言うけど、これまたフロント同様加工しなければローターが装着できない。バックプレートを削る…ではなく切ることになった。上側の出っ張っている部分を月形に切り落としていく。ちなみにこのバックプレートは走行風をローターに当てる冷やす役割があるとか。このくらい切つても大丈夫でしょう、と簡単に考えてますが、本当に大丈夫なんでしょうか？！ ブレーキパッドはパッケージにフロント用と記してありますが、実はリア用です。

